

清少納言に「いいね！」をもらおう ～枕草子～

本単元で育成する資質・能力

進んで参加する態度

- 1 単元 枕草子 東京書籍
- 2 学年・学級 第2学年3組39名 (男子20名 女子19名 計39名)
- 3 単元の目標と単元設定の理由

単元の目標

- 季節に対する清少納言の見方や感じ方について関心をもち、自分の季節感と比べることができる。
【国語への関心・意欲・態度】
- 『枕草子』から季節の良さを見つけるときの視点や例の挙げ方や書きぶりを学ぶ。【書くことウ 記述】
- 『枕草子』に表れたものの見方や感じ方に触れ、清少納言の思いを想像することができる。
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア（イ）】

単元観

本単元は、中学校学習指導要領「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」第2学年ア（イ）「古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること」の育成および、「意見が相手に効果的に伝わるように分かりやすい説明や具体例やふさわしい語句を選ぶこと」の育成をねらい設定した。

教材となる『枕草子』第一段は、それぞれの季節の様子が生き生きと描かれており、現代の私たちにも共感できる部分が多い。反面、当時ならではの様子や感じ方を読み取ることもできる。生徒たちは、現代と平安時代の共通点や相違点に気付く中で、共感したり驚いたりしながら、古典作品を身近に感じることができると思われる。また、清少納言は、それまで和歌にはほとんど詠まれなかった素材に目を向け、そこに読者の共感を呼ぶ魅力を発見している。さらに、体言止め、五感でとらえた色彩豊かな情景描写をしている。その書きぶりは、生徒たちにとって見習いたいモデルとなると考える。

生徒観

本学級の生徒に事前にアンケートを行ったところ、次のような結果が得られた。

古典作品の学習が好きだ、という項目に肯定的な回答をした生徒は41%となっており、古典作品の学習に苦手意識をもっている傾向がうかがえる。古語や歴史的仮名遣いに対する抵抗がその理由と思われる。

また、97%の生徒が書く学習は必要だと感じているものの、文章を書くことが好きだという項目に肯定的な回答をした生徒は23%にとどまった。理由としては、どう書けば良いのかがわからない、何を書けばよいかわからないというのが大半を占めていた。モデルを示したり、書き方を具体的に示したりすることで、苦手意識を軽減できると考える。

更に、自分の考えを発表することに肯定的な回答をした生徒は37%で、理由としては「失敗したくない」「自信がない」ことが挙げられている。その一方で、「多様な意見を知ることができる」「新たな発見や気付きがある」ことを理由に、97%の生徒が、友達の考えを聞くことに、89%の生徒がグループでの学習活動に肯定的な回答をしている。互いの考えを交流する場面を設定することが、学習活動への意欲につながると考える。

指導観

上記のアンケート結果から、単元導入では、生徒が自分たちの課題を発見し、その解決のためにはどのような学習を行えばよいかを考えさせることで、学習展開に必然性を持たせ、生徒の進んで参加する態度の育成につなげたい。単元を通して課題解決をめざす言語活動として清少納言の書きぶりを取り入れて、季節をテーマにした文章を書き、交流する活動を設定した。清少納言の目の付けどころや表現の絶妙さを自分の文章に活かそうとして、作品に積極的にかかわることができると考えたからである。清少納言の季節感や表現のよさをみつける過程で、自分の季節感との共通点や相違点に気づき、長く読み継がれてきた古典作品の魅力を感じさせたい。

単元導入と、単元終盤で2度、「好きな季節とその理由」についての随筆を書いて比較させ、自分たちでまとめた随筆の書き方の工夫を生かすことで、自分の考えを書く力が上達したことを実感させたい。


4 本単元で身に付けたい資質・能力

- 自分の文章をよりよいものにするために、進んで作品を読み、清少納言のものの見方や感じ方、書きぶりの特徴をとらえようとしている。
【進んで参加する態度】

5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
○自分の文章をよりよいものにするために、進んで文章を読み、清少納言のものの見方や感じ方や書きぶりの特徴を捉えようとしている。	○清少納言の書きぶりを参考にしながら、その季節のよさが効果的に伝わるように、表現や構成を工夫して文章を書いている。	○清少納言のものの見方や考え方、表現の仕方の特徴をとらえ、自分や現代のものの見方や感じ方と比べている。

6 単元の指導計画

時間	1 (本時)	2~4	5~6	7~8
単元	清少納言に「いいね！」をもらおう～枕草子～			
資質・能力	<p>○自分の文章をよりよいものにするために、進んで作品を読み、清少納言のものの見方や感じ方、書きぶりの特徴をとらえようとしている。 【進んで参加する態度】</p> <p style="text-align: center;">課題提示の工夫 ワークシートの工夫・グループ学習 生徒による相互評価</p>			
学習過程	<p>課題設定</p> <p>君達は、自分の考えを書くことが苦手だというアンケート結果が出ました。原因を探り、解決するための学習計画を立てて学習し、自分の考えを書く力を伸ばそう。</p>	<p>情報の収集・整理・分析</p> <p>『枕草子』の序段や他の段を読む。</p> <p>清少納言の視点や表現の工夫を整理する。</p>	<p>創造・表現</p> <p>清少納言の見方・考え方や書きぶりを参考にして季節の良さについて文章にす</p> <p>より良くするために、グループでアドバイスをし合う。</p> <p>アドバイスをもとに、文章を推敲する。</p>	<p>まとめ</p> <p>作品の発表会を行い、たくさんの「いいね！」をみつける。</p> <p>学習を振り返る。</p>
生徒の活動	<p>課題についての理解</p> <p>自分たちで学習計画を立案</p>	<p>『枕草子』序段の読み取り</p> <p>『枕草子』の他の段の読み取り</p> <p>清少納言の視点や表現の工夫のまとめ</p>	<p>清少納言の季節に対する見方・考え方や書きぶりを参考にして季節の魅力を文章化</p> <p>アドバイスをもとに、文章の推敲</p>	<p>グループ発表と相互評価</p> <p>振り返りカードの記入</p>
関意・態	<p>課題を理解しようとしている。</p>	<p>・清少納言の季節感や表現の工夫に関心をもっている。</p>		<p>・互いの文章の良さを見つけようとしている。</p>
言語についての知識・理解・技能		<p>・清少納言のものの見方や感じ方をとらえている。</p> <p>・清少納言と自分の感じ方の共通点や相違点に着目している。</p>		<p>・清少納言の季節に対する見方・考え方に触れ、体験と関連付けて自分の見方や感じ方を広げている。</p>
書く能力			<p>・『枕草子』の特徴を取り入れ、自分の季節感を表す文章を効果的に書いている。</p>	
主体的な学びを創造するための指導のポイント	<p>○1時間目と5時間目に「季節の良さ」についての随筆を書いて比較させ、自分たちでまとめたポイントを活用することで、自分の書く力が伸びたことを実感させます。</p> <p>○自分たちの課題を解決するために『枕草子』をお手本にして学ぶという、読むことへの必然性をもたせます。</p>	<p>○『枕草子』の序段以外の段も読むことで、清少納言のものの見方や感じ方についてより深くとらえることができます。</p> 	<p>○「清少納言の季節に対する見方・考え方を参考にすること」ことで、より繊細な感覚や鋭い視点で季節の良さをとらえることができます。</p> <p>○アドバイスをもらうことで、意欲的に文章の練り直しができます。</p>	<p>○清少納言になりきって「いいね」を見つけてすることで、互いの作品の良さを見つける視点からはっきりします。</p>

7 本時の学習(1時間目)

(1) 本時の目標

学習の目標を理解し、学習計画を考えて意欲的に学習に参加しようとしている。【関心・意欲・態度】

(2) 本時の学習展開

過程	学習活動	指導上の留意点(◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て)	評価規準 (評価方法)
導入	1 自分の考えを文章に書く。	◇「自分の好きな季節とその理由」というテーマで、200字原稿用紙にまとめさせる。	
	2 自分の考えを文章に表すことの大切さについて考え、本時の学習課題を理解する。	◇アンケート結果から、自分の考えを文章に表すことを大勢が苦手と感じていることを知り、その原因を考えるとともに、書く事の意義についても考える。	
自分の考えを書く力を伸ばすための、学習の流れを考えよう			
展開	2 パワーポイントから、「枕草子」が随筆のお手本としていかに適格かを理解する。また「枕草子」序段のテーマを模倣して、自分の好きな季節を随筆にまとめるという学習活動を理解する。	◇例示した古文の内容は指導者が説明し、理解を助ける。 ◇これまでの型に囚われず、自分の感じたことや考えたことを自由に表現しているところに「枕草子」の魅力があることを押さえる。	○自分で学習計画を立案し、書き込もうとしている。 (行動観察)
	4 「枕草子」をお手本として随筆を書くには、まず何をして、次に何をしたら良いか、学習計画を立てる。	◇ワークシートに書き込ませる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 予想される意見 ○まず ・「枕草子」について図書室で調べる。 ・「枕草子」の内容をインターネットで調べる。 ・教科書の「枕草子」を勉強する。 ○次に ・調べた内容を紹介する。 ・清少納言の随筆の書き方を調べる。 ・「枕草子」の工夫されている点を調べる。 ○最後に ・清少納言の工夫を真似して随筆を書く。 ・書いた随筆を友達と読みあう。 </div>	
	4 考えた学習計画をペアに説明する。	◇考えた内容を表現する場面を全員に保証する。 (◆考えられなかった生徒には、ペアの考えを聞いて感心したことを伝えさせる) ◇見通しをもって取り組めるよう時間配分を提示する。	
	5 全体で意見を交流し、学習計画を決定する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ○まず、「枕草子」を<u>読む</u>。 ○次に、清少納言の随筆を書くときの工夫(視点、内容、構成、言葉など)について<u>まとめる</u>。 ○最後に、随筆を、まとめた内容を<u>活用して書く</u>。 </div> ◇大まかな流れは上記に沿うよう、極力生徒の意見を生かしながら整理する。	
	6 本時の学習を振り返りまとめを書く。	◇本時の学習で理解したことや、今後の学習に向けての思いを書くよう指示する。	
まとめ	7 次時の学習予定について知る。	◇「枕草子」を読む前に、まずは現在の力で自分の好きな季節に関する随筆を書くことを伝える。	○学習の目的を理解し、進んで学習に参加しようとしている。 (ワークシート)

五月二十三日

清少納言に「いいね！」をもらおう！枕草子

本時のめあて

自分の考えを書く力を伸ばすための、学習の流れを考えよう

○自分の考えを書く力を伸ばすと、どんな良いことがあるだろうか？

- ・将来社会に出たときに、仕事で役立つ。
- ・分かりやすく自分の考えを相手に伝えられる。
- ・高校入試の小論文で役立つ。
- ・自分の考えをまとめたり、整理したり出来る。
- ・自分の考えたことを保存、記録できる。

○「枕草子」をお手本として随筆を書くには・・・

まず

- ・「枕草子」について図書室で調べる。
- ・「枕草子」の内容をインターネットで調べる。
- ・教科書の「枕草子」を勉強する。

次に

- ・調べた内容を紹介する。
- ・清少納言の随筆の書き方を調べる。
- ・「枕草子」の工夫されている点を調べる。

最後に

- ・清少納言の工夫を真似して随筆を書く。
- ・書いた随筆を友達と読みあう。
- ・清少納言に「いいね！」をもらう。

すると

君の自分の考えを書く力が伸びる



～ メモ ～
